

第5学年 国語科学習指導案

対象児童 28名

授業者 葛西 航

1 単元名 「立場を決めて討論をしよう『より良い考え方はどっち?』」

2 単元の目標

- ・主張がより効果的になるよう、根拠を明確にしながら討論したり、振り返ったりしようとする。(関心・意欲・態度)
- ・立論を考えて、自分たちの意見を支えるために必要な情報を収集し、図表やグラフを関連付けた資料としてまとめることができる。(書くこと)
- ・資料を効果的に提示しながら、共通語を用い、場に応じた言葉遣いで討論することができる。(話すこと・聞くこと)
- ・状況に応じて、意図をより明確に伝えるにはどうすればよいか助言し合ったり、より良い主張にするために互いの意見を比べたり考えたりしながら計画的に討論して評価し合うことができる。(話すこと・聞くこと)
- ・話し言葉と書き言葉の違いを理解し、丁寧な言葉で話すことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 指導にあたって

本教材では、討論会の進め方の手順と、それに伴う具体的な例が示されている。児童は、学級会の時間に、司会者を中心に学級の問題や学校行事、生活目標に関することなどを話し合っているが、あらかじめ賛成・反対・フロアという三つの立場に分かれて、全体の構成を見通しながら討論をするということは初めての経験となる。論題の進め方や立論の立て方、資料作り、質問や反対意見への対応策など、自分の主張について筋道立てて考え、それを表現する力を身に付けさせたい。併せて、賛成・反対の立場で意見を戦わせ相手に克つということではなく、自分とは異なる立場の意見や質問を受け入れることで自分の考えが更に深まることや、フロアの中立的な立場で、主張の分かりやすさや話し方のよさを客観的に評価できる力も付けさせたい。

本単元では、討論の準備段階で、アンケートやインタビューなどを行い、それを図やグラフ、動画などにして資料を作成し、討論会ではそれを電子黒板に提示しながら自分たちの主張に説得力をもたせるようにする。児童は一学期、「学校を百倍すてきにする方法」の単元で、イメージマップをグループで作成し、一人一人がスピーチの原稿作りの手がかりとして役立てる経験をした。その際、テーマについて様々な意見を挙げ、意見を交流しながらイメージマップをつなげていくことはできていた。一方で、スピーチ原稿を作成する段階で、イメージマップに並んだたくさんの意見の中から自分の考えに合ったものを選び役立てるということがうまくできていない児童が多く、課題として残った。今回の学習を通して、児童に情報を「集める」だけでなく、その中から適切なものを「選ぶ」力をつけさせたい。

本時では、討論会を行って、それぞれの主張を伝え合う。賛成側・反対側については、討論会を正しく行えたか、自分の主張が相手やフロアに正しく伝わったかだけでなく、相

手側の主張を聞くことで新しい発見をし、論題に対する自分の考えが深まったりするよう意識付けしていきたい。また、フロアの担当をする児童についても、あらかじめ論題に対する自分の考えをもち、中立的な立場で双方の主張に耳を傾けることで、討論会を通して自分の考えがどう変わったり深まったりしたかを意識させながら討論会に参加させることを重視したい。

4 研究主題との関連

自己を見つめ、共に学び合う子どもを育てるための授業づくりの研究
～ICTの活用を通して～

① 主体的・対話的な学びの場面設定の工夫

★討論会の中で、主張に説得力をもたせ、分かりやすく伝えさせるために、各班で用意した資料を提示しながら説明させる。

ICT 活用

② 学びの自覚につなげるための工夫

★振り返りの場面で、討論を通して自分の考えの「動いたところ」に着目できるように、自分の立場をスケール表に示す。

ICT 活用

◎ ICT機器活用表

項目	ICT活用チェック		■該当あり	□該当なし
授業の場所	<input type="checkbox"/> 普通教室	<input checked="" type="checkbox"/> 特別教室	<input type="checkbox"/> 体育館	<input type="checkbox"/> その他（ ）
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習	<input checked="" type="checkbox"/> グループ学習	<input type="checkbox"/> 個別学習
活用場面	<input type="checkbox"/> 導入	<input checked="" type="checkbox"/> 展開	<input type="checkbox"/> まとめ	
活用者	<input type="checkbox"/> 指導者	<input checked="" type="checkbox"/> 児童	<input type="checkbox"/> その他（ ）	
活用目的	<input type="checkbox"/> 資料の提示（指導者） <input checked="" type="checkbox"/> 資料の提示（学習者） <input type="checkbox"/> 自分の考えをまとめる <input checked="" type="checkbox"/> グループの考えをまとめる <input checked="" type="checkbox"/> 他者との考えの比較・交流 <input type="checkbox"/> 学習内容を調べる <input checked="" type="checkbox"/> 自分の考えを表現する <input type="checkbox"/> 学習の振り返り <input type="checkbox"/> 記録（写真・動画等） <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション等の作成			
活用機器	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 指導者用タブレット端末（iPad） <input checked="" type="checkbox"/> 児童用タブレット端末（iPad） <input type="checkbox"/> その他（ ）			
活用コンテンツ	・ロイロノート			
活用のポイント	・班で作成した資料を提示しながら意見を発表する。 ・フロアの立場を思考ツール（ベン図）に表し、考えの動きを表示する。		資料の提示	思考の視覚化

5 指導計画（全9時間）

時間		ね ら い
1 次	1	・ 討論会の進め方を知ること、討論会に関心をもつ。 ・ 関心のある事柄を挙げ、話し合いを通して論題を決める。
	2	・ 討論会をするグループを決め、役割分担をする。 ・ 討論の見通しをもち、どんな資料を集めるかをグループごとに話し合う。
	3	・ 論題に関する情報をグループで取材し、自分たちの立場に合った必要な情報を整理する。
	4・5	・ 調べた情報をもとに、グループで立論の内容を考え、提示する資料を作る。
2 次	6	・ グループ内でリハーサルを行い、質問や反対意見に対する答えを考えてまとめる。 ・ 質問や反対意見への対応や最終弁論を話し合う。
	7・8 (本時) 9	・ 討論会を行う ・ 内容を振り返り、成果と課題を話し合う。

6 本時の学習

(1) 目標

<賛成・反対側>

- ・ 資料を効果的に使いながら、自分の意見が相手に分かるように伝えたり、話し方を工夫したりすることができる。 (話すこと・聞くこと)

<フロア>

- ・ 双方の主張の説得力を考えながら聞き、それぞれのグループのよさを見付けることができる。 (話すこと・聞くこと)

<全体>

- ・ 進行表に沿って討論会を進め、その内容を評価することができる。 (関心・意欲・態度)

(2) 展開

段階	学習活動 ○発問	・ 予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ★提案事項 □評価(観点・方法) ◆支援
導 入 5 分	1 前時までの活動を振り返る。 ○前回の反省を生かし、もっとよい討論会にするにはどうしたらよいと思いますか。	・ 資料の見てほしい部分を、しっかりと強調すればよい。 ・ 相手の意見をよく聞き、それに答えるような意見を言えた方がよい。	◇前時の感想カードを紹介しながら、「考えを深める」→討論会を通して、相手の考えを聞き、自分の考えの「動いた所」を見付けられることであることを確認する。
	2 本時のめあてを確認する。 ㊦ 討論会を行い、考えを深めよう。		

	⑥終わりのあいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・～側の意見がいいと思っていたが、両方の意見の真ん中でいいかも知れないと思った。 	<p>理解し、場に応じた言葉づかいで討論に参加している。(討論会の様子)</p> <p>【互いの考えを述べる、比較する】</p>
まとめ 10分	<p>5 討論会について振り返りをする</p> <p>①考えの動いたところ</p> <p>②良かったと思う友だちの姿</p> <p>6 次の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・答えを用意していた質問にはすぐに答えられた。 ・フロアからの用意していない質問に答えるのに苦労した。 ・自分の考えには自信がなかったけれど、今日の討論会でしっかり話せて、自分の考えが間違っていないことが分かった。 ・討論会が終わっても、反対の立場は変わらなかった。でも、賛成側の意見もいいなと思った。 	<p>□討論会を通して自分の考えの深まりに気づき、感想にまとめている。(感想カード)</p> <p>★感想カードに自分の考えの「動いたところ」を書くことで、討論会を通して自分の考えの深まりを実感することができる。②</p> <p>【振り返って次へつなげる】</p>

7 板書計画

